

J R 連合  
 総がかりの運動を  
 強く広く  
 展開しよう!



JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

日本鉄道労働組合連合会  
 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10 東興ビル9階  
 TEL (NTT) 03-3270-4590 (JR) 057-7848  
 FAX (NTT) 03-3270-4429 (JR) 057-7849  
 1部20円 (但し組合費に含む)  
 ●発行者/松岡裕次 ●編集者/中村鉄平



## J R 連合に新たな仲間が続々と

# JREユニオン仙台地本 貨物鉄産労東海地区本部 で新規加入

J R 労働界における地殻変動が起こるなか、J R 連合は第27回定期大会で、すべての運動を組織強化・拡大に帰結していく決意を固めた。

そのような決意のもと、JREユニオン、貨物鉄産労の地道な世話役活動と真に民主的な運動が今回の成果につながった。

今こそ、J R 連合への総結集を果たすときである。J R 連合・民主化当該単組・支援単組の三位一体となった取り組みを一層展開し、民主化闘争の完遂、J R 労働界の一元化にむけて、運動を加速していく。

J R 東海ユニオンは、7月5日、愛知県豊橋市内において、結成25周年の節目となる第27回定期大会を開催し、2018年度運動方針を満場一致で決定した。

執行部を代表して挨拶に立った鎌田茂中央執行委員長 (J R 連合副会長) は、本大会まで取り組んできた中期目標「ユニオントライ」の総仕上げの1年間を振り返り、新幹線車内の刃物殺

害事件など、顕在化している危険なリスクについて課題提起を行った。また、昨年8月に会社と締結した新労使共同宣言「将来につながる共同宣言」を礎として、向こう10年の新たな中期目標「UNION FUTURE」に基づき、①鉄道・医療をはじめJ R 東海グループ全体の安全確立、②組合員全員参画による組織の活性化、③雇

用を守りつつ労働条件等の改善を図るハートフルカンパニーの実現を3本柱とする運動方針の要点を述べつつ、将来にわたる「会社の

貨物鉄産労第34回定期全国大会  
**安全確立・組織拡大・  
 新人事賃金制度交渉へ総力を結集**

貨物鉄産労は、7月6日、愛知県尾張一宮市内において、第34回定期全国大会を開催し、2018年度の運動方針を満場一致で決定した。

冒頭、執行部を代表して大杉正美中央執行委員長 (J R 連合副会長) は、2年連続の鉄道ロジスティクス部門の黒字や、19年ぶりのベア獲得、東海地区本部における組織拡大の実現、J R 東海ユニオンの組織強化など、J R 貨物の経営動向や貨物鉄産労を取り巻く諸情勢に触れつつ、重要課題として、

J R 東海ユニオン第27回定期大会  
**「UNION FUTURE」をスタート**

J R 東海ユニオンは、7月5日、愛知県豊橋市内において、結成25周年の節目となる第27回定期大会を開催し、2018年度運動方針を満場一致で決定した。

安全課題、組織課題、労働条件・環境や制度に関わる諸課題、政治活動など、多岐にわたる積極的な発言があり、各担当執行委員から中間答弁、尾形泰二郎書記長の総括答弁を受け、全議案は満場一致で可決された。

定期大会終了後には、多くの来賓・組合員が参加する中、結成25周年記念レセプションを開催した。

J R 連合は6月11日、12日、第27回定期大会を開催し、「安全最優先の取り組みの深度化、政策課題の解決・前進を図るべく、そして民主化闘争の完遂・J R 労働界の一元化にむけて、J R 連合総がかりの運動を強く広く展開しよう」をスローガンに掲げ、向こう1年間の運動方針を決定した。

今後、加盟各単組において定期大会を開催し、J R 連合総がかりの運動を牽引する原動力を強固なものとしていく。すべてのJ R 連合運動を組織の強化・拡大に帰結させるべく、加盟各単組とともに展開していかねばならない。なお、J R 四国労組第37回定期大会は大雨の影響により、延期となった。

発展と組合員・家族の幸せ」を実現していくとの強い決意が語られた。

J R 連合からは、松岡裕次会長・河村澄喜事務局長・政所大祐企画部長が参加し、松岡会長が祝辞を述べた。

その後、執行部から経過報告、運動方針案の提起が行われ、23人の代議員から安全課題、組織課題、労働条件・環境や制度に関わる諸課題、政治活動など、多岐にわたる積極的な発言が

あり、各担当執行委員から中間答弁、尾形泰二郎書記長の総括答弁を受け、全議案は満場一致で可決された。

定期大会終了後には、多くの来賓・組合員が参加する中、結成25周年記念レセプションを開催した。

米子市議会議員選挙  
**J R 連合地方議員団連絡会  
 中田利幸代表幹事当選**

6月24日、投票を迎えた米子市議会議員選挙において、J R 連合地方議員団連絡会で代表幹事を務める中田利幸米子市議が5期目の当選を果たした。J R 西労組米子地本をはじめ、J R 連合の総力を挙げて取り組んだ結果が実を結んだ。

J R 連合は、各地域の抱える実態・問題点を把握した上で、政策提言を行うべく、地方



貨物鉄産労第34回定期全国大会【7月6日】

## J R 7 単組すべてで夏季手当妥結 貨物鉄産労は19年ぶりベアに続き 昨年を上回る回答引き出す

J R 7 単組の夏季手当については、J R 東海ユニオン、J R 西労組、J R 四国労組、J R 九州労組が2018年春季生活闘争において妥結し、引き続き、J R 北労組、J R Eユニオン、貨物鉄産労が要求をもとに、交渉を行ってきた。組合員の負担に配慮するべく、この間、会社の持続的な発展のため、安全最優先に業務に邁進し、現場第一線から支えてきたことを訴えるなど、鋭意交渉を展開してきた。

結果、昨年を上回る回答など成果を引き出し、J R 7 単組すべてで、夏季手当について妥結した。

J R 7 単組の2018年「夏季手当」要求及び妥結状況表

単組名	2018年				2017年	
	要求日	要求内容	妥結日	妥結内容	妥結日	妥結内容
J R 北労組	5/21	2.4ヶ月	6/22	2.02ヶ月 7/4支払	6/21	2.02ヶ月 7/4支払
J R Eユニオン	5/14	3.2ヶ月	6/12	2.91ヶ月 6/28支払	6/9	2.91ヶ月 6/27支払
J R 東海ユニオン	2/7	3.1ヶ月	3/15	3.05ヶ月 6/29支払	3/16	3.05ヶ月 6/30支払
J R 西労組	2/9	年5.7ヶ月	3/14	5.66ヶ月 (年間) 6/29支払 (夏季分)	3/15	5.44ヶ月 (年間) 6/30支払 (夏季分)
J R 四国労組	2/13	2.3ヶ月	3/23	1.94ヶ月 7/6支払	3/23	1.89ヶ月 7/7支払
J R 九州労組	2/13	3.0ヶ月	3/16	2.52ヶ月 +50,000円 6/29支払	3/17	2.52ヶ月 6/30支払
貨物鉄産労	2/13	年4.5ヶ月以上	6/18	1.65ヶ月 +0.08ヵ月 7/6支払	6/27	1.6ヶ月 7/7支払

\* J R 東海ユニオン・J R 西労組・J R 四国労組・J R 九州労組は、春季生活闘争時に同時要求同時妥結。貨物鉄産労は同時要求別妥結。J R 北労組・J R Eユニオンは、別要求別妥結。

## J R 連合総がかりの運動を牽引する J R 各単組で定期大会開催

J R 連合は6月11日、12日、第27回定期大会を開催し、「安全最優先の取り組みの深度化、政策課題の解決・前進を図るべく、そして民主化闘争の完遂・J R 労働界の一元化にむけて、J R 連合総がかりの運動を強く広く展開しよう」をスローガンに掲げ、向こう1年間の運動方針を決定した。

今後、加盟各単組において定期大会を開催し、J R 連合総がかりの運動を牽引する原動力を強固なものとしていく。すべてのJ R 連合運動を組織の強化・拡大に帰結させるべく、加盟各単組とともに展開していかねばならない。なお、J R 四国労組第37回定期大会は大雨の影響により、延期となった。

発展と組合員・家族の幸せ」を実現していくとの強い決意が語られた。

J R 連合からは、松岡裕次会長・河村澄喜事務局長・政所大祐企画部長が参加し、松岡会長が祝辞を述べた。

その後、執行部から経過報告、運動方針案の提起が行われ、23人の代議員から安全課題、組織課題、労働条件・環境や制度に関わる諸課題、政治活動など、多岐にわたる積極的な発言が

あり、各担当執行委員から中間答弁、尾形泰二郎書記長の総括答弁を受け、全議案は満場一致で可決された。

定期大会終了後には、多くの来賓・組合員が参加する中、結成25周年記念レセプションを開催した。

米子市議会議員選挙  
**J R 連合地方議員団連絡会  
 中田利幸代表幹事当選**

6月24日、投票を迎えた米子市議会議員選挙において、J R 連合地方議員団連絡会で代表幹事を務める中田利幸米子市議が5期目の当選を果たした。J R 西労組米子地本をはじめ、J R 連合の総力を挙げて取り組んだ結果が実を結んだ。

J R 連合は、各地域の抱える実態・問題点を把握した上で、政策提言を行うべく、地方

## 米子市議会議員選挙 J R 連合地方議員団連絡会 中田利幸代表幹事当選

6月24日、投票を迎えた米子市議会議員選挙において、J R 連合地方議員団連絡会で代表幹事を務める中田利幸米子市議が5期目の当選を果たした。J R 西労組米子地本をはじめ、J R 連合の総力を挙げて取り組んだ結果が実を結んだ。

J R 連合は、各地域の抱える実態・問題点を把握した上で、政策提言を行うべく、地方

議員団連絡会との連携をさらに強化していく。今回の結果で弾みをつけ、来年度定されている統一地方選挙にも注力していく。

多くの支援者と当選を果たし喜ぶ中田代表幹事



多くの支援者と当選を果たし喜ぶ中田代表幹事

